

■プラットフォームの構成員が参画した「秋田リカレント教育プラットフォーム事業実施委員会」を設置し、主に下記に取り組む。

- 教育プログラムの内容・設計、受講生に期待する学修効果等について検討すること
- 定期的にプラットフォーム構成員や派遣元企業等と教育プログラムの検討・活用に向けた議論を行うこと
- プログラム終了後に、受講生や派遣元企業、講師、プラットフォームの構成員からのアンケートやヒアリングに基づいて、受講生の評価基準や修了認定基準を定期的に見直すこと
- 派遣元企業等の参画を得て、プログラム終了直後および一定期間経過後（半年または一年後）にプログラムの効果および修了生の活躍に関して調査を行うこと
- 学修者のみならず、企業においても学修者の意欲向上や企業成長に繋げていく工夫を検討・改善すること等

■秋田大学の「地域共創機構」にリカレント教育担当部署を設置する。

■当該担当部署には、本補助事業の窓口として常勤の担当職員を配置する。

■次年度以降の継続的なリカレント教育に推進のため、必要な専門性を持つスタッフを当該担当部署に配置する。

■産業界・地域の知見・ニーズを盛り込んだコンテンツ作成や、地域・企業へ渉外活動を行うコーディネーターを配置する。

